

【主題名】 友だちを大切に 【教材名】 泣いた赤おに (光村図書 4年)

内容項目【 友情、信頼 】

須崎市立浦ノ内小学校

「考え、議論する道徳」の授業づくりをめざして
～道徳科における、「主体的・対話的で深い学び」の実現へ向けて～

教材研究会での論点 中心発問から子供の思考をどのように深めていくか

1. 「考え、議論する道徳」の授業 (主体的・対話的で深い学び) に向けて

【本時のねらい】

青おにの自分に対する思いに気づいた赤おにの姿を通して、友達を大切にすることについて考えさせ、友達とよりよい関係を築き、互いに理解し、信頼し合おうとする心情を育てる。

【指導の要点】

学習活動や生活の様々な場面を通して理解し合い、協力し、助け合うことで信頼感や友情が育まれること、よりよい友達関係を築くことができることに気付かせる。導入や展開の後段で友達のイメージを問うたり、自分自身の考えがどう変化したかを捉えさせたりしながら、友達の存在についての考えを深めていきたい。

【主題に関わる児童生徒の実態】

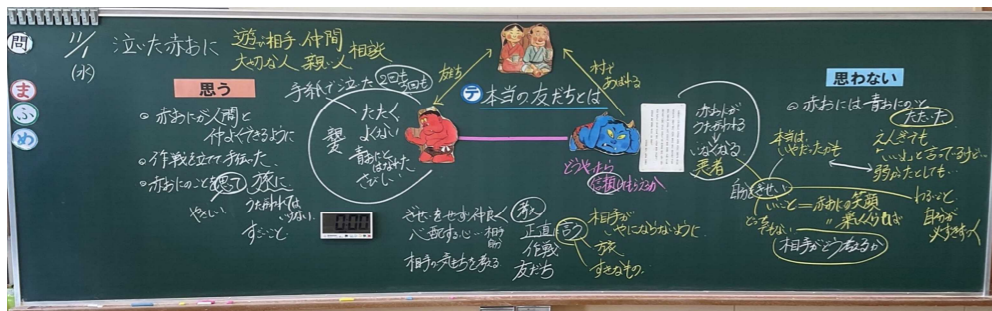
本学級の児童は、活発な児童が多く、友達と遊ぶことを毎日何よりも楽しみにしている。友達を遊びに誘ったり、困っている友達に声をかけたりする姿もたくさん見られる。しかし一方で、自己主張が強く、不正に対する批判をしたり、人を非難したりしてトラブルになることや、自分の利害にこだわった行動をすることが多々ある。自身の中ではいけないと理解しながら、行動することの難しさも理解している。友達の心情を考慮することや自分がどのように接すればよいかを自己に問うことなど、相手の身になって行動したり接したりする態度を育てたい。

【授業を通して引き出したい児童生徒の考え】

- 自分だけが犠牲になればいいわけではないけど、青おにのように相手のことを思って行動ができる人になりたいと思いました。
友達がいてくれることのありがたさを感じました。いなくなった後では遅いから、普段から友達がいることが当たり前ではなく、感謝するように心がけたいです。
赤おにのことが何よりも大切な青おに、青おにがかけがえのない存在であることに気づいた赤おに、二人の友情が素敵だなと思いました。
自分の普通の遊びなど振り返ってみると、いつも我慢してくれている人がいたのかもしれないと思いました。これからは、そんな人が出ないように気持ちを考えて行動したいです。

引き出したい児童生徒の考えを具体的に想定することで・・・

- 「最後に引き出したい児童生徒の考え」が明確であれば、それを引き出すために、「どんな発問や問い返し、揺さぶりをすれば良いのか」など、手立てや発問をより具体的に考えることができる。
ねらいがぶれにくくなる。
授業後には、「引き出したい児童生徒の考え」が記述や発言に現れていたか検証することで、授業改善を図っていくことができる。



2. 「主体的・対話的で深い学び」への挑戦～「動と静の授業」の提案～

動

主に学習過程の前半部分
教師主導ではなく、子供たちが能動的に活動する場面
<主体的・対話的な学びへ>

静

主に学習過程の後半部分
教師主導で、内容項目についてじっくりと考える場面
<深い学びへ>

主体的・対話的
本時の討論課題
赤おにと青おには本当の友達だと思いますか?
考える 思わない
討論を用いた話し合い活動

役割演技などの体験的な活動もできます!!

討論とは、子ども達の思考に葛藤を生むことで、違う立場を選んだ友達の考えを聞きたくなる、話したくなる児童主体の話し合い活動であり、それぞれの立場に分かれての対話を通して、友達との考えの違いから、物事を多面的・多角的に考えることができる学習形態の一つです。
児童主体の話し合い活動になることで、道徳授業の大きな課題の一つである、「教師の喋りすぎ」や「一問一答」の改善にもつながりました。

動

静

深い学び
本時の中心発問：二人に足りなかったものは何だろう?

子どもの思考の流れを想定し、段階的に思考を深めましょう

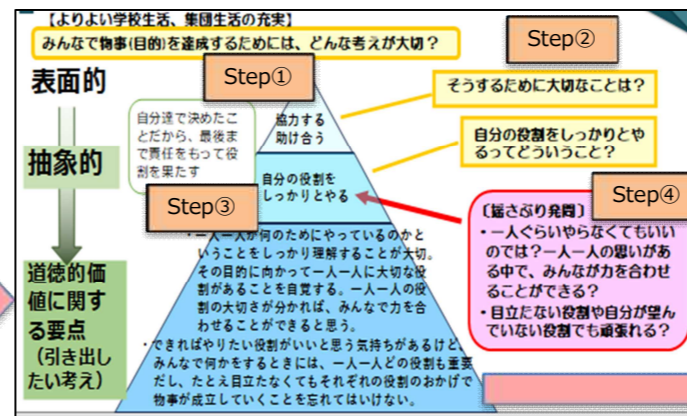
Table with 2 columns: 発問の種類 (第一段階, 第二段階, 第三段階) and 発問の内容 (児童生徒の反応, 相手のことを考える, etc.)

深い学びへつなげるために、教師が「問い返し」や「揺さぶり」の発問を意図的に行い、段階的に価値を深めていきました。ここで大切なことは、問いの乱発をせず意図的に価値を深めることです。本時の授業のように子どもの思考の流れを想定しながら発問を精選し、意図的に子ども達の考えを深めていくことが大切です。

3. 深い学びへ向かうための働きかけ～中心発問からの問い返しや揺さぶり～

高知大学教職大学院 森有希 教授 探究のピラミッド

子どもの思考を段階的に深めるイメージ図



子どもの思考の流れを意識し学びを深める 4 Step

Table mapping 4 steps of inquiry (Step 1-4) to student reactions and teacher questions, with a column for 'Moral values to be drawn out'.

4. 日常化へ向けての工夫～毎時間の指導略案へ取り入れる～

小学校5年 実践例 資料名: ブランコ乗りとピエロ 主題名: 分かり合うために 内容項目: 相互理解、寛容

Lesson plan table for 'ブランコ乗りとピエロ' with columns for stage, question, and student response.

浦ノ内小5年生の実践事例

上記の学びを深める4stepを指導案に組み込むことで、道徳的価値を深めることを意識した授業を行うことができ、自分自身の授業力の向上につながります。

